

プレスリリース

大岩オスカール個展「光の満ちる銀座」

2018年7月21日（土） - 9月22日（土）

東京画廊+BTAP | 東京

〒104-0061 東京都中央区銀座 8-10-5 第4 秀和ビル 7階

TEL: 03-3571-1808 / FAX: 03-3571-7689

東京画廊 + BTAP（東京）では、大岩オスカール個展「光の満ちる銀座」を開催いたします。弊社では、2009年に北京で個展を行って以来、9年ぶり二度目の個展となります。

大岩オスカールは1965年、ブラジル・サンパウロに日系ブラジル人二世として生まれます。1989年にサンパウロ大学建築学部を卒業後、より広い活躍の場を求めて、東京（1991～2001年）、次いでニューヨーク（2002年～）と拠点を移し、制作活動を行ってきました。大岩の絵画は、都市での生活体験を基盤に、それぞれの土地の環境と向き合いながら制作される点に特徴があります。俯瞰的な構図と大画面を用いて、自然や都市をダイナミックに描くだけでなく、風景のほころびから垣間見える社会の多面性をユーモアを交えて明らかにするその作品は、国際的に高く評価されています。

近年では、2008-09年に東京都現代美術館、福島県立美術館、高松市美術館を巡回する個展を行い、2016年の瀬戸内国際芸術祭では、直径12mのドーム内部を油性マジックの描画で埋め尽くすインスタレーションを制作しました。現在はサンパウロのJapan Houseにて個展が開催されるなど、国内外で精力的にアーティスト活動を行っています。

本展では、大岩が2015年以降制作した新作を展示致します。大岩が訪れたロサンゼルス郊外や、日本の田園を走る基幹道路の風景を題材とした作品、あるいは実在しない地表の光景を想像力によって描いた作品など、大画面の絵画を中心に、光と影の対比や、そこから生まれる時間の推移など、大岩の作品の物語性が際立つ展覧会となる予定です。

7月21日のオープニングに合わせてアーティストが来日する予定です。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

東京画廊+BTAP プレス担当:鈴木佳世

e-mail: kayo.suzuki@tokyo-gallery.com / website: www.tokyo-gallery.com

開廊時間 | (火-金) 11:00-19:00 (土) 11:00-17:00

休廊日 | 日、月、祝

北京展覧会 | SHIMURAbros 個展

2018年5月15日（木） - 6月30日（土）

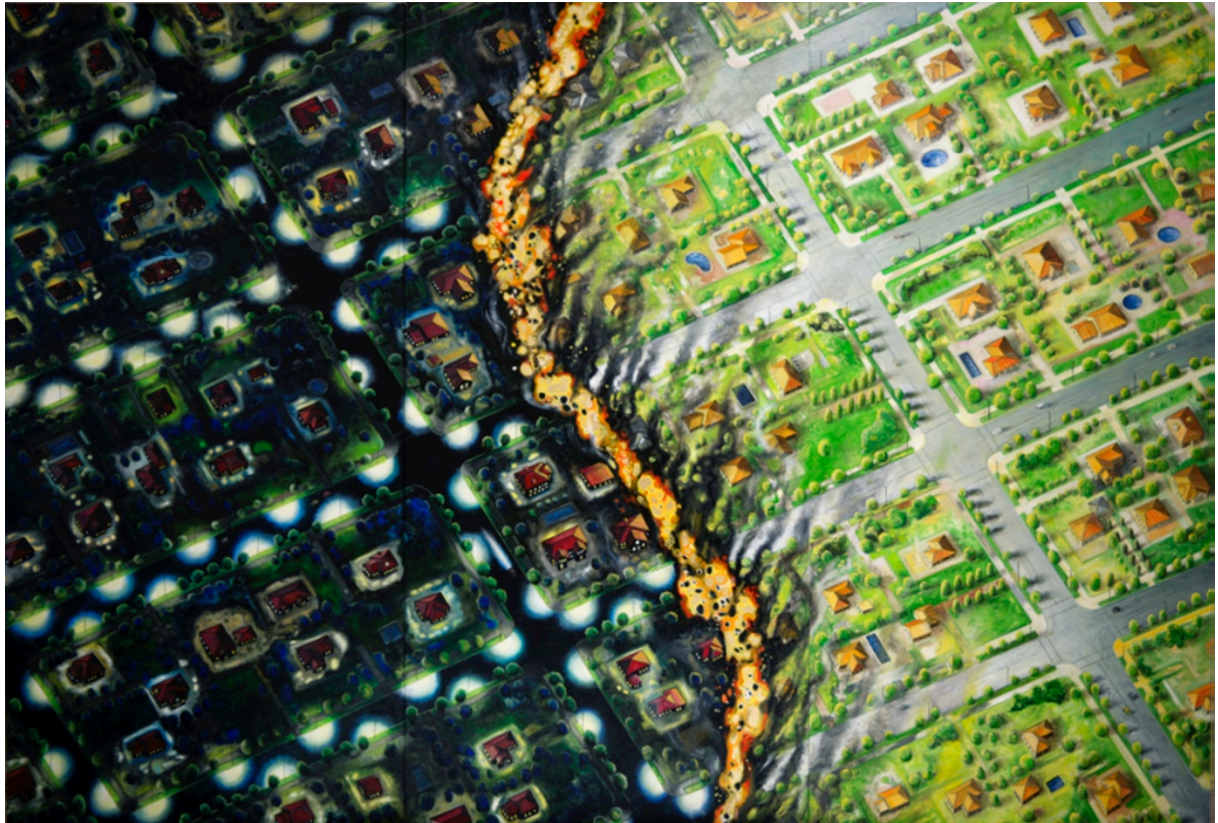
Ceramics Third Street, 798 Art zone E02, 4Jiu Xian Qiao Rd., Chao Yang District, Beijing, 100015 CHINA

東京画廊+BTAP | 東京

〒104-0061 東京都中央区銀座 8-10-5 第4 秀和ビル 7階

TEL: 03-3571-1808 / FAX: 03-3571-7689

www.tokyo-gallery.com



大岩オスカル<Twilight> (2017) 油彩、キャンバス、227 x 333 cm

もう遠い昔のことになりましたが、画廊は銀座にあると言われ、情報誌「ぴあ」を手に握って初めてこの銀座エリアの画廊まわりをしました。僕がまだ大学生の時のことで、初めて日本に来て一気に100ヵ所以上の画廊を回り、なんとなく自分なりに日本のアートシーンを頭の中に描きました。二十歳になったばかりの僕には、この銀座の世界はととても華やかに見えました。ブラジルのサンパウロで育ったので、海外の情報が少なく、全てが冒険でした。インターネットも携帯電話もない時代だったので、行った先で何が起こるか分からず、その時その時で行動を決めていかなければなりませんでした。

あれから世の中は国際的になり、あの時代が懐かしいです。自分はいつの間にか銀座を回る若者ではなく、銀座の画廊で展示をする側になりました。僕は数日前、韓国から戻って来たところで、時差で朝早く起き、ニューヨークで朝5時にこの原稿を書いています。窓の外はまだ薄暗く、遠くに見えるタイムズスクエアの光を眺めながら、考えます。あれから30年も経ち、日本は美術館や作品を展示する場所が増え、アートの環境は良くなってきたのではないかと思います。奨学金やアーティスト・イン・レジデンス、海外留学の機会が増えたおかげで、今の若い世代は銀座エリアの画廊まわりをする人は、少なくなって、貸画廊は減ってきているのではないかと思います。

銀座で展覧会をするのは久しぶりです。今回の個展では、僕が今まで見てきた「頭の中の風景の光」を展示しようと思いました。僕は見た物に対してはわりと良い記憶を持っていて、頭の中に多くの情報が入っています。見ることはその「風景の光」を見ていることではないかと思います。その時の自分の精神状態と場所、時間によって、ごく普通の日常的な風景でも特別に見えてくることがあります。その一瞬の「頭の中の光」を固定して、それを絵にまとめていきました。夕焼けの光、森からくる光、水の反射。このような人知れず過ぎていく一瞬の出来事を形にして生まれた作品を展示しようと思いました。

2018年3月
大岩オスカル